

奈良のシカ保護管理計画検討委員会
鹿苑のあり方等検討部会 第1回会議

議 事 要 旨

1. 日 時 令和5年12月21日(木) 13:00~16:00

2. 場 所 奈良県庁 第1会議室

3. 議 事

【報告事項】

- (1) 鹿苑のあり方等検討部会及びワーキンググループの設置について
- (2) 鹿苑におけるシカの管理に関する調査結果報告及び行政指導について

【審議事項】

- (1) 天然記念物「奈良のシカ」の保護管理の現状について
- (2) 保護地区(A、B地区)、緩衝地区(C地区)におけるシカによる農業被害状況について
- (3) 鹿苑に収容されているシカについて
- (4) 鹿苑におけるシカの管理に関する課題とその検討内容について
- (5) 鹿苑のあり方等検討部会の今後のスケジュールについて
- (6) その他

4. 資 料

【報告事項】

- 報告資料 1-1: 鹿苑のあり方等検討部会及びワーキンググループの設置について
- 報告資料 2-1: 鹿苑におけるシカの管理状況に関する調査結果報告について(奈良県調査結果報告)
- 報告資料 2-2: 一般財団法人奈良の鹿愛護会に対する立入検査等の結果と対応方針について(奈良市調査結果報告)
- 報告資料 2-3: 指導書(奈良市調査結果報告)

【審議事項】

- 審議資料 1-1: 天然記念物「奈良のシカ」の保護管理の現状について
- 審議資料 2-1: 保護地区(A、B地区)、緩衝地区(C地区)における農業被害状況
- 審議資料 2-2: 保護地区(A、B地区)、緩衝地区(C地区)における「奈良のシカ」の捕獲状況
- 審議資料 2-3: 保護地区(A、B地区)、緩衝地区(C地区)における防鹿柵の設置状況
- 審議資料 3-1: 鹿苑に収容されている「奈良のシカ」の由来とその収容頭数
- 審議資料 4-1: 鹿苑のシカ管理に関する課題とその検討内容案(中・長期的な対応)
- 審議資料 4-2: 奈良市指導書、奈良市調査結果及び奈良県調査結果に対する鹿苑特別柵の現状
- 審議資料 5-1: 鹿苑のあり方等検討部会の今後のスケジュール

【参考情報】

- 天然記念物「奈良のシカ」保護計画 (<https://www.pref.nara.jp/53788.htm>)
- 奈良市ニホンジカ第二種特定鳥獣管理計画(第2次) (<https://www.pref.nara.jp/60137.htm>)

5. 出席者

【出席者名簿】 敬称略

	氏 名	役 職 名
リーダー	村上 興正	元京都大学大学院理学研究科 講師
検討委員	朝廣 佳子	鹿サポーターズクラブ 会長
(五十音順)	高柳 敦	京都大学大学院農学研究科 准教授
	立澤 史郎	北海道大学大学院文学研究院 特任助教
	田中 亜紀	日本獣医生命科学大学獣医学部 特任教授 (欠席)
	鳥居 春己	元奈良教育大学附属自然環境教育センター 教授 (オンライン)
	渡邊 伸一	奈良教育大学教育学部 教授
オブザーバー	江戸 謙頭	文化庁文化財第二課 文化財調査官 (オンライン)
	北野 治	春日大社 管理部長
	生駒 堅治	鹿害阻止農家組合 組合長
	息田 恭昌	奈良阪農家組合
	辰巳 直大	奈良阪農家組合
事務局	奈良県 地域デザイン推進局	奈良公園室
	奈良市 観光経済部	観光戦略課
県関係課	奈良県 食と農の振興部	農業水産振興課
	奈良県 文化・教育・くらし創造部	消費・生活安全課
	奈良県 文化・教育・くらし創造部	文化財保存課
市関係課	奈良市 観光経済部	農政課

6. 議事要旨

【報告事項】

(1) 鹿苑のあり方等検討部会及びワーキンググループの設置について

【報告事項】

- 鹿苑のあり方等検討部会及びワーキンググループの設置の経緯、目的、課題、委員構成について共有された。

(2) 鹿苑におけるシカの管理に関する調査結果報告及び行政指導について

【報告事項】

- 奈良県および奈良市による鹿苑におけるシカの管理に関する調査結果および行政指導書について共有された。

【審議事項】

(1) 天然記念物「奈良のシカ」の保護管理の現状について

【報告・決定事項】

- 天然記念物「奈良のシカ」の保護管理についてのこれまでの経緯、施策が共有された。

【主な意見】

- 緩衝地区（C地区）における奈良のシカの取り扱いが重要であり、農業被害防止をどのように考えていくかを議論する必要がある。

(2) 保護地区（A、B地区）、緩衝地区（C地区）におけるシカによる農業被害状況について

【報告・決定事項】

- 保護地区（A、B地区）および緩衝地区（C地区）における、シカによる農業被害状況、防鹿柵設置状況、シカの捕獲状況について共有された。

【主な意見】

- 今後、GPS テレメトリー調査によるシカの行動圏や、マイクロチップによる個体のデータを活用することが重要となる。
- 県が設置した防鹿柵について、場所によってはシカの侵入があり、さらなる対策が必要。また、防鹿柵を設置しても、柵内に栄養価の高い農作物がある状況では、シカはネットを引きちぎるなどして柵内に侵入している状況もあるが、設置後の維持管理は、災害時の対応は別として、原則農地所有者が行っていく必要がある。
- 奈良市の外側からシカが流入していることも考慮する必要がある。

(3) 鹿苑に収容されているシカについて

【報告・決定事項】

- 鹿苑に収容されている「奈良のシカ」の由来とその収容頭数について共有された。

【主な意見】

- 当面は特別柵について議論することとなる。現在収容されているシカの取扱い等の対策と今後収容されるべきシカの基準の見直し等の対策が必要となる。

(4) 鹿苑におけるシカの管理に関する課題とその検討内容について

【報告・決定事項】

- 奈良市指導書等に対する鹿苑特別柵の現状について共有された。
- 奈良のシカの管理に関する課題と中・長期的な対応について検討された。

【主な意見】

- 鹿苑における現状のシカの環境をどのように改善するか、鹿苑のあり方の本格的な議論が必要。
- 今後、鹿苑施設がどのように改修されるのか、その計画資料の情報共有が必要。
- 目標とするシカの栄養状態は、終生収容するか否かで異なる。また、病理解剖により消瘦や死亡の要因を明らかにするとよい。

(5) 鹿苑のあり方等検討部会の今後のスケジュールについて

【報告・決定事項】

- 鹿苑のあり方等検討部会は、鹿苑のあり方等について短期的な視点での対策を検討するとともに、中・長期的な視点での対策については今後1年を目途として検討していく。

(6) その他

【報告・決定事項】

- 特になし

以上